



2025年2月10日

各 位

会 社 名 西川ゴム工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 小川 秀樹  
(コード番号 5161 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 常務取締役コーポレート統括本部長 休石 佳司  
(TEL : 082-237-9371)

## 配当方針の変更及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり配当方針の変更及び2025年3月期の1株当たり期末配当予想について修正することを決議いたしましたのでお知らせします。

なお、剰余金の配当につきましては、2025年6月開催予定の当社第76回定時株主総会の承認を経て正式に決定する予定であります。

### 記

#### 1. 配当方針の変更

##### (1) 変更の内容

変 更 前	変 更 後
業績の安定的向上と安定配当の継続および配当性向等を勘案し、経営環境や収益状況さらに財務体質の強化に配慮し、配当額を決定いたします。	連結の株主資本配当率 (DOE) を8%程度※として、安定的な利益還元を実施いたします。

※中間配当は中間期末の株主資本等、期末配当は期末の株主資本等をベースにそれぞれ4%を乗じた金額を配当いたします。そのため、結果として年間合計のDOEが8%を若干上回る、あるいは下回る可能性もございます。

##### (2) 変更の理由

当社は、PBR 1倍以上およびROE 9%以上の早期達成を目指すため、『2030年 グローバル中長期経営計画』の追補版を策定し、事業戦略、資本政策、ガバナンス体制の抜本的な見直しを行いました。その中でROE 9%の達成を確実なものとするために、現在60%を超えている自己資本比率を積極的な株主還元により55%まで圧縮することを新たに経営目標として加えております。

そこで、資本効率性の向上を考える上で基本となる「株主資本等」の金額をベースに配当額を決定することが妥当であると判断し、「株主資本配当率 (DOE)」を採用することといたしました。DOEの採用は、これまで採用していた配当性向に比べ、単年度の業績の影響を受けにくく、安定的な利益還元を実施するという配当方針にも合致いたします。

なお、『2030年 グローバル中長期経営計画』の追補版を策定するに際し、資本市場から要求されている推計株主資本コストは9%程度であることを認識いたしました。年間のDOEを8%程度とすることにより、受取配当で株主資本コストの多くをカバーしつつ、本業の収益力を向上させることで、ROEが株主資本コストを確実に上回ることを企図しています。

### (3) 変更の時期

2025年3月期の期末配当より変更いたします。

なお、当第4四半期からの配当方針の変更となるため、2025年3月期の期末配当は半期分となるDOE4%を配当予定としております。

## 2. 期末配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	年間配当額		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回配当予想 (2024年11月11日発表)		26円00銭	52円00銭
今回修正予想		178円00銭(※)	204円00銭
当期実績	26円00銭		
前期実績 (2024年3月期)	20円00銭	24円00銭	44円00銭

※当第3四半期の期末株主資本等（実績）の金額に4%を乗じた額を配当予想（暫定値）としております。当第4四半期の株主資本等の金額が確定した段階で期末配当額が確定します。

### (2) 理由

当社は新たに採用した配当方針に基づき、当期の1株当たり期末配当金の予想額について検討した結果、前回配当予想から152円増配となる178円に修正とすることといたしました。これにより、既に実施済の中間配当金26円と合わせまして、当期の1株当たり年間配当金は204円となる予定です。

なお、本件は2025年6月開催予定の当社第76回定時株主総会の承認を経て正式に決定する予定であります。

以上